

明けましておめでとうございます。
私達は「命だけは平等だ」の理念のもと、いつでも、どこでも、だれでもが最善の医療を受けられる社会を目指し、地域の皆様が求める医療・介護の実践を日々邁進していく所存であります。

石垣島では観光客の急増及び住みやすい環境を求めて県内外からの移住者も増加しています。

当院では「おでかけ健康講座」と題して院外での医療講演会を実施しています。最近では健康に関する意識も高く参加者も増えて参りました。皆様の健康維持に少しでも貢献できますよう努力して参ります。

今度とも宜しくお願い致します



看護部長
友寄 幸子

明けましておめでとうございます。
私達、石垣島徳洲会病院はグループ内外からの応援があって成り立っています。旧年中も大変お世話になりました。周りの支えに「感謝する気持ち」をもてる職場作りを目指して参ります。当院の近況としては、近頃、職員の士気が高まっていること。院内から様々な意見・提案・要望が上がってくる。また、部署間の垣根を越えた応援体制ができています。職員一人ひとりの頑張りに応える為に全力で取り組まなければならないと思います。

優しい気持ち、優しい言葉、優しい対応を心掛けて、皆様に貢献できるよう職員一丸となって努力して参ります。
本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。



事務長
山川 宜則

平成29年 石垣島徳洲会病院 望年会 in ANAインターコンチネンタル石垣



12月16日に職員互助会主催の望年会（望む会）を開催しました。

職員により「驚ぬ鳥節」で座開きのあと、子供達の郷土舞踊、パブリーダンス、院長・看護部長・事務長のサプライズダンスなどの余興と東京を拠点に活動中のアーティスト：イシワタケイタさんによるライブで盛り上がりました。

ANAインターコンチネンタル石垣の美味しい料理とおもてなしにも感謝しつつ年忘れとしました。



看護部キャリアアップ研修で学んだこと（報告書より一部抜粋）

石垣島では人口透析を受けられる施設が3ヶ所しかなく患者様の受け入れを各々の施設が連携することによって成り立っていた。観光客の急増に伴う旅行透析も増加しており院内での工夫を見ることができた。病棟は1つしかなく49床の中でスタッフが協力して業務を行っていた。離島ということもあり独居者のご家族との連絡を密に取り合うことが必要であることを学んだ。外来では海洋生物による咬傷への対応や近隣離島からの受診も多く帰船時間に合わせた診療体制の工夫を見ることができた。訪問診療及び訪問看護は患者様やご家族様との連携やコミュニケーションが重要であることを学びました。また、訪問看護時に救急搬送する場面に接し、その時の対応や判断をいかに迅速に行えるかが大事であることを学んだ。通所リハビリでは利用者様とのコミュニケーションが重要であり、高齢者や障害者の転倒事故に注意が必要であり、目配り気配りが重要であることを再認識した。

5日間にわたり各部署を見学しました。時には実際に手技を行うことも出来ました。離島では各スタッフの連携が必要であること。石垣島内には病院は3つしかなく他病院との連携がいかに大切理解することができた。また、八重山諸島は大自然があるために周辺の生物による事故への対応などを理解しておく必要があることも学ぶことができた。石垣島は私のいる八尾市とは異なり自然豊かでありながら都市機能もあるなかで離島医療の現実を見ることができました。



おおしま まこと
大嶋 真琴
八尾徳洲会病院
期間：12月4日～8日

